

▼チオアラ錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】チオプロニン (U) tiopronin 【分類】代謝改善解毒剤

【単位】▼100mg/錠

【常用量】300mg/日 [シスチン尿症には400~2000mg/日 分4]

【用法】分3

【透析患者への投与方法】減量の必要なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要なし (5)

【特徴】構造式にSH基を持ち生体の酸化還元平衡を保持し、体内の物質代謝経路の要所に関与する重要なSH酵素が毒性物質によって失活するのを阻止して毒物による代謝障害を抑制する作用がある。シスチン結石を溶解し再発予防作用もある。

【主な副作用・毒性】黄疸等の重篤な肝障害、食欲不振、悪心、味覚異常、発熱、倦怠感、天疱瘡様症状、白血球減少、長期・大量投与でネフローゼ症候群など

【モニターすべき項目】KUB、Alb、Hb、24hr尿蛋白測定、血算、白血球数、血小板数、肝機能検査、Urinalysis routine、尿中シスチン濃度、pH電極を用いた24hr尿pH (U)

【吸収】吸収は遅い (Eur J Clin Pharmacol 43: 93-5, 1992) $ka=0.58/hr$ (1)

【F】63% (Eur J Clin Pharmacol 45: 79-84, 1993)

【tmax】1.1hr (1) 3~6hr (Eur J Clin Pharmacol 45: 79-84, 1993) 2-MPAのtmaxは10~15hr (Eur J Clin Pharmacol 43: 93-5, 1992)

【代謝】速やかに代謝され、15%が主代謝物2-mercaptopropionic acid (2-MPA) になる (Eur J Clin Pharmacol 43: 93-95, 1992)

【排泄】尿中回収率48% [4hrまで]、78% [72hrまで] (U) 尿中回収率 [未変化体とSS体の合計として] 51.5% [po, 24hrまで] (1)

【CL】105~231mL/min (Eur J Clin Pharmacol 38: 499-503, 1990)

【t1/2】1.2hr (1) β 相は短く最終相は53hr (Eur J Clin Pharmacol 45: 79-84, 1993) 最終相は55~59hr (Eur J Clin Pharmacol 38: 499-503, 1990)

【蛋白結合率】資料なし (1) 蛋白結合率は投与15時間まで徐々に上昇し約70%で一定になる (Eur J Clin Pharmacol 38: 499-503, 1990)

【Vd】V_d 455L/man (Eur J Clin Pharmacol 45: 79-84, 1993)

【MW】163.20

【透析性】分布容積が大きいため透析で除去されにくいと思われる (5) 資料なし (1)

【TDMのポイント】TDMの対象にはならない

【pKa】3.59, 8.87 (1) 【O/W係数】資料なし (1)

【効果発現時間】急速 (U)

【効果持続時間】非常に短い; チオプロニンの効果は投与後、8~10hr以内に消失する (U)

【更新日】20151130

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配付を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。